

『現場奉行』シリーズを大学・研究機関に導入した場合の使用方法と効果

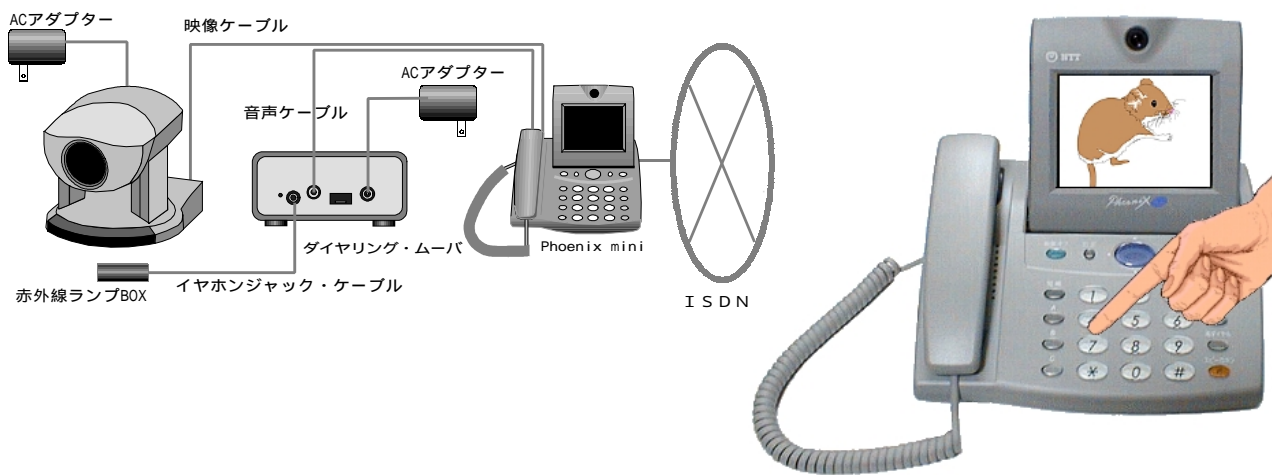
テレビ電話 Phoenix mini と『現場奉行』を大学・研究機関で利用した場合、何日も実験室に泊りがけで実験を行ったりする長時間実験等を事務所や遠く離れた自宅等から確認する事が可能になります。屋外の実験では『現場奉行』も威力を発揮します。

T大H研究所でも、インターネット・ライブ・カメラとして『現場奉行』を導入し、研究生が寮から夜間でも実験内容を監視しています。

実験室設置カメラユニット

事務所

自宅や遠隔地からテレビ電話で操作



実験の様子を自宅からテレビ電話やインターネットで確認これによって下記の様な導入効果が発生します。

■ 遠隔地からの直接実験指示

直接映像を見ながら実験指示を行う事が可能になります。
的確で間違いのない指示によって、実験効率は著しく向上します。

■ 共同研究のツールとして

他大学や民間企業との共同研究の際にも威力を発揮します。
実験の様子を多忙な教授陣にも確認して頂きやすくなります。

■ 研究者の負荷の解消

自宅や寮からも画像を見るだけでなく遠隔でカメラ操作までできるので、
実験に異常の無い事を、確実に監視できます。計器類にズームして数値を確認したりする離れ業も可能です。

■ 実験に対する安全性の向上

特に医療の研究等では、研究者の安全性も考慮しなければなりません。
(病気への感染等) 遠隔で細かく実験の様子を確認できるので、その分研究者は危険から回避できる事になります。